

別紙

「平成 23 年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応について（追加指示）」に基づく報告書の記載の訂正について

「平成 23 年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応について（追加指示）」（平成 23・06・03 原院第 1 号）に基づいて報告した下記 2 件の報告書について、一部誤りを確認いたしました。

報告書

「平成 23 年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応について（追加指示）」に基づく報告（平成 23 年 8 月 30 日報告）

報告書

湯ノ岳断層に関する追加調査結果の報告（平成 23 年 12 月 27 日報告）

1. 訂正内容

上記の報告書における誤りが発生した箇所について、表 1 の通り示します。

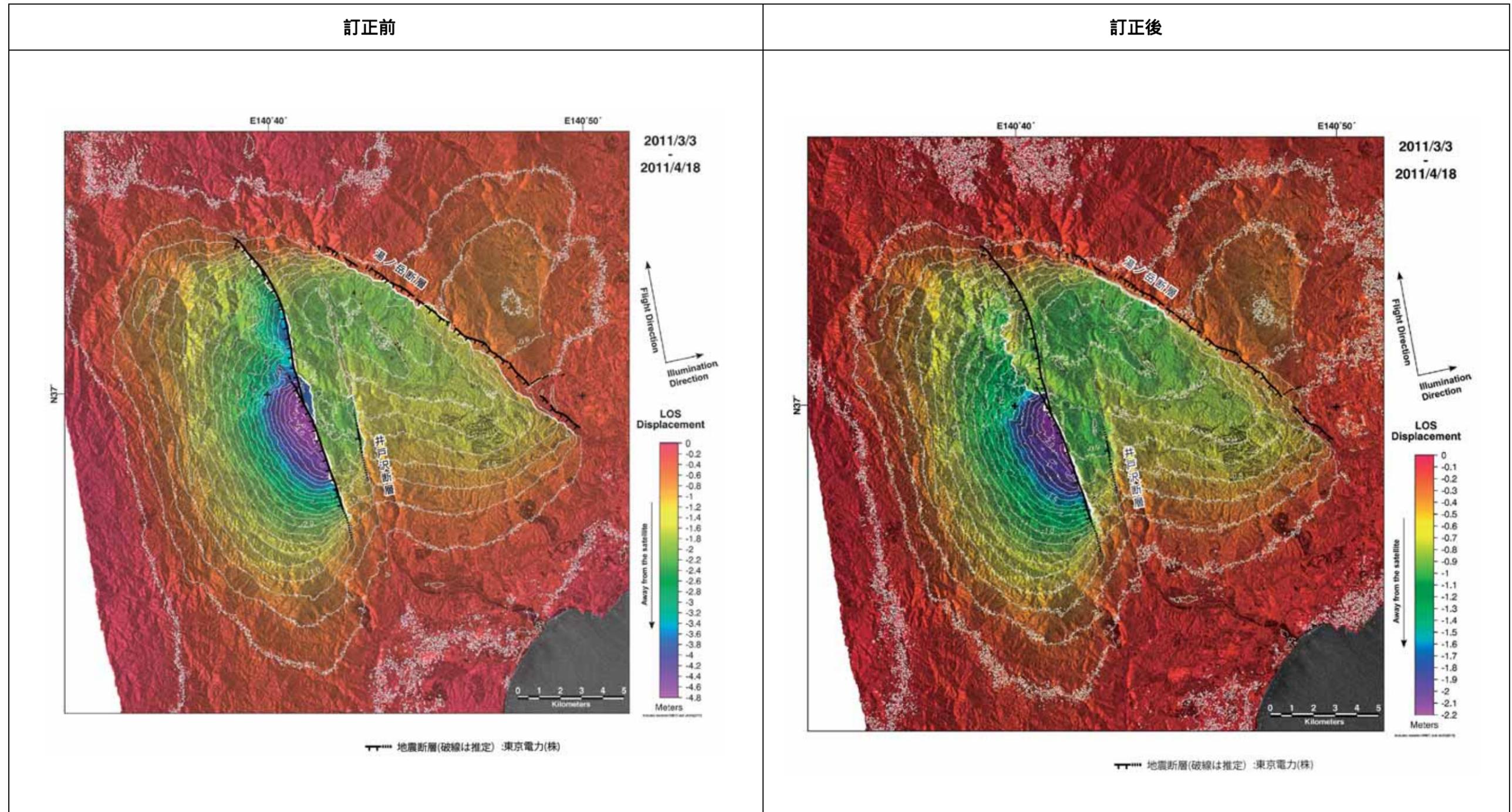
表 - 1 誤りが認められた箇所一覧表

報告書	掲載ページ	該当箇所	誤りの原因
	2-41	干渉 SAR ² により変位量を示した図 (図は全て同じ)	計測データを図化する際のファイルの取り違いによるもの
	2-62		
	2-69		
	2-77		
	29 ¹		

1：例として、正誤表を表 - 2 に示す

2：SAR (Synthetic Aperture Radar : 合成開口レーダー)。人工衛星等に搭載した特殊なレーダーにより地表面の詳細を調査するもの。

表 - 2 湯ノ岳断層に関する追加調査結果の報告（平成 23 年 12 月 27 日報告） 29 ページ（第 3 . 2 - 2 図）の正誤表



宇宙航空研究開発機構（JAXA）が取得したSARデータを元に地表の変位量を示す図を作成していましたが、作図の際に元となるファイルを誤って取り違えて作成した図を掲載しておりました。なお、図に示している数値を用いた評価は実施しておらず、報告書の評価に影響を与えるものではありません。

以上